

ネギ人生産組合さん



豊岡の若手農家と豊岡農業スクールの卒業生で、白ネギのブランド化を目指し、2018年に結成。右列前から、鎌田頼一さん(代表)、小川恭弘さん。左列前から、鎌田珠未さん、三上裕也さん、田中一成さん、能勢明宏さん、小川菜美さん

冬をのりきる、若手農家の経営モデルになりたい



◆どんな活動をしていますか？

「TAJIMA ネギマッコ」の名で商標登録した、太くて、甘くて、柔らかい白ネギを栽培し、共同で出荷しています。2020年度は約1.5ヘクタールの面積で生産し、11月に店頭デビュー予定です。

◆チーム結成のきっかけは？

冬の厳しい豊岡で、新規就農者の収入安定を図るため、秋から冬に旬を迎える作物として、白ネギの栽培を試みたのがきっかけです。メンバーはそれぞれ独立農家として、夏はピーマン、トウモロコシ、キュウリ、ミニトマトなどを出荷していますが、冬は何をつくるか。農業に新規参入する若手には、ハウスの設置などの初期投資はたやすくなく、露地で栽培できて、安定的な収入を見込める白ネギを共同生産することにしました。

「TAJIMA ネギマッコ」のネーミングには、子どもや若者にも親しんでほしいという思いを込めています。

◆豊岡農業スクールで得たものは？

「1年間を見通せる経営モデルを確立したい」という、志を同じくする仲間との出会いです。スクール在学中は、知識や技術を教わることに一生懸命でしたが、培ったものが出会った人々とのつながりの中で生かされるということ、私たちは実感しています。

卒業後はブランディングやマーケティングを進める上で、県の農業普及員とのつながりが心強い後押しになっています。今後は作付面積と生産量を拡大し、産地指定を受けることを目標にしていきたいです。

◆これから農業を志す人にむけて

しんどい作業も時にはありますが、やりがいのある仕事です。自分の手で育てた安全な食べものを、子どもや家族に食べさせてあげられることも大きな喜びです。私たちと一緒に活動しませんか。

就農相談会のお知らせ

「将来、豊岡で農業をめざす人」の相談会

- ▼日時 11月20日(金)午後1時30分から4時
- ▼場所 豊岡稽古堂 交流室3-1(3階)
- ▼対象 誰でも(無料)
- ▼申込み 農林水産課 ☎23-1127

「就農準備研修」と「個別相談」の2部構成。講話、体験報告(豊岡農業スクールの現役生・卒業生)、希望する就農分野に応じた個別相談を実施します。

豊岡オーガニックワークスさん



農薬や化学肥料を一切使わない栽培方法にこだわる、豊岡農業スクールの卒業生を中心に、2020年に結成。後列左から、中嶋敏博なかしまとしひろさん(代表)、立脇収平たちわきしゅうへいさん。前列左から、中井勇一なかいゆういちさん、黒葛真吾くろくわしんごさん。

◆どんな活動をしていますか？

完全な有機農法でニンジンを栽培し、京阪神の大手スーパーに共同で出荷しています。また、ニンジンの糖度の高さを生かし、加工品(ジュースなど)の開発も手がけています。

◆チーム結成のきっかけは？

個人経営では、栽培と収穫、販路の開拓に限界があるからです。メンバーはそれぞれ、独立農家または雇用先の農業法人として、有機農産物の認証(有機JAS)を受け、米や野菜、ぶどうを生産していますが、1人の力では生産量を安定させ、売り先を確保することはたやすくありません。そこで、有機農法で失敗するリスクが小さく、品質にも伸びしろのある、ニンジンを生産することになりました。2020年度は30トンの収穫を見込んでおり、できた分を売るのではなく、出荷量を契約して栽培しています。

自然環境の力を生かす
有機農法にこだわる

◆豊岡農業スクールで得たものは？

自然環境の力を生かす農法(環境創造型農業)の根幹となる土づくりについて確かな技術を得たことです。もみがら、そばがら、枯草、緑肥、貝殻から取り出した石灰など、ふるさとの自然の中にある有機物を使って土づくりに力を入れることで、有機農法は品質や生産量が安定しないというイメージを乗り越えることができました。

また、売り先を確実にするため、一般家庭で使われる主要野菜を選び、品質を極めていきたいです。メンバーの一部が、個人の経営で生産するタマネギ、ダイコン、ピーマンなどは、JAたじまを通じて、市内の学校給食への提供につながっています。

◆これから農業を志す人にむけて

やる気次第です。確かな技術を身に付け、仲間と売り先にめぐり合うことができれば、農業はやりがいのある仕事だと言えます。

若手農業者へのメッセージ

しもくらかずのり
霜倉和典さん

豊岡市認定農業者
連絡協議会事務局長
(有限会社 あした
代表取締役社長)



農業はおもしろい、将来性のある産業です。地域の人々と関わる中で、頼りにされる人間になり、頼りにされる商品をつくる。その道のりは、自分とのたたかいであり、答えは自分の中にあります。

認定農業者連絡協議会は、豊岡農業スクールを通じて、地域ぐるみで、農業を志す若者をサポートします。定めた目標に向かって、まっしぐらに進んで行くことを期待します。

※掲載している情報は編集時点(10月15日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。